



毎月十五日発行 社会 宗像 大社歌会詠草 定価 一月送料共 1000円

神域の桜花も綻びかける中 春季大祭斎行



御神域の樹木の若葉が萌え、桜の花も綻びかけた三月二十一日から、四月二日迄の三日間に亘り、当社春季大祭が斎行される。

大祭を間近に控えた三月二十九日は、地元総代並びに協力会々員らの奉仕により、諸準備も完了、社頭には装いも新たとなった。

神域の桜花も綻びかける中、春季大祭の準備が完了し、社頭には装いも新たとなった。

宗像大社歌会詠草 第三五八回 中村 吾郎 選

八幡東 江口 妙子 正月を過ぎた今日は暖か... 宗像大社歌会詠草

八幡東 江口 妙子 正月を過ぎた今日は暖か... 宗像大社歌会詠草

八幡東 江口 妙子 正月を過ぎた今日は暖か... 宗像大社歌会詠草

二月二十三日、皇居正殿松の間において、浩宮徳仁親王殿下の立太子宣明の儀が行われた。

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

二月二十三日、皇居正殿松の間において、浩宮徳仁親王殿下の立太子宣明の儀が行われた。

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

立太子宣明の儀を拝して

春季大祭神賑行事 奉納剣道大会



暖かな日差しにつつまれた三月二十一日(日)、恒例の春季奉納剣道大会が、大会場を玄海小学校体育館に移し、約四百名が参加して盛大に開催された。

この大会は約四十年の歴史を持ち、毎年春の大祭の神賑行事として、神社境内で行われる野試合であるが、今年には境内整備のため、やむをえず玄海小学校での開催となった。

受け付け開始と共に宗像地区各剣道教室、学校の剣士達が、日頃使った竹刀、防具を肩に担ぎぞくぞくと集合、体育館は身動きとれない程になった。

大会は、試合に先立ち参加選手達の安全と正々堂々の闘いを誓って宗像大社の

遙拝、続いて花田新太郎剣道連盟宗像支部長の挨拶、剣道型の機軸渡技が行われた後、男女九部門により試合開始となった。

熱戦の火蓋が切って落されると、随所で目録越えた技と闘志が激突、一喜一憂の白熱戦が繰り広げられた。特に毎年のことながら、竹刀より丈の低い豆剣士の奮戦が目立つ低学年の部では、好試合もあれば中には滑稽な対戦もあり、審判員の日を苦しめる場面もしばしば見られた。

最近優勝連教室もなかなか思うように勝てず、どの教室にも実力相応、試合は奉納大会に相応しく正々堂々の対戦、宗像武士の威風凛々前につづとせ、好試合続出し、会場は選手達の掛け声と各教室応援団の応援で終日、各教室の栄誉を賭けた熱戦も午後三時には終了、引き続き表彰式が行われ、春の奉納剣道大会も無事終了した。

- 尚各部の成績は次の通りである。
- ◇ 男子の部
 - 小学生二年度の部
 - 優勝 赤西剣道教室
 - 準優勝 宗像高等学校A
 - 三位 玄海少年剣道教室
 - 小学生三年度の部
 - 優勝 赤西剣道教室
 - 準優勝 玄海少年剣道教室
 - 三位 玄海少年剣道教室
 - 小学生四年度の部
 - 優勝 自由ヶ丘剣道教室
 - 準優勝 自由ヶ丘剣道教室
 - 三位 玄海少年剣道教室
 - 中学生の部
 - 優勝 自由ヶ丘剣道教室
 - 準優勝 日の中学校
 - 三位 宗像高等学校C
 - ◇ 女子の部
 - 小学生の部
 - 優勝 南郷剣道教室
 - 準優勝 宗像高等学校A
 - 三位 宗像高等学校C
 - 中学生の部
 - 優勝 日の中学校
 - 準優勝 宗像高等学校A
 - 三位 宗像高等学校B
 - 高校生の部
 - 優勝 日の中学校
 - 準優勝 宗像高等学校A
 - 三位 宗像高等学校C

松尾神社 酒造奉賽祭斎行

本格的な春の到来を感じ、三月十九日、午前十一時より当大社境内末社の松尾神社に於いて、新酒の芳醸を感謝する酒造奉賽祭が斎行された。

当日、松尾神社には大職が掲げられ、北筑杜氏組合員八名が参列し、厳粛な儀式が執り行われた。神前には各蔵屋の新酒が供えられ、昨年暮れに仕込んだ新酒が芳醸に出来たことを感謝すると共にこれからは各酒造元が益々繁栄するよう祈って、祝詞が奏上され、代表者が主車を奉奠、一同感謝の誠を捧げ、引き続いて最後は、同奉賽祭を斎行、宗像大社



の神恩に感謝して祭典を滞り無く終了した。

酒の神祇を高く京都の松尾大社には宗像大社辺津宮の市村島姫神が祀られていた。当大社では、毎年各酒造元が酒仕込みに入る前の三月十九日に松尾神社祭を斎行している。

酒仕込みの間、杜氏さん達はふる里を離れて蔵に入り酒仕込みに励む。酒造りはその年の米の出来具合、湿度等が微妙に作用する。日本酒の中でもアルコールを使わず作る純米酒が、一粒の米を50%の程削り磨いて造る吟醸酒・大吟醸酒などは特に手間がかかり、色、香り、含み、酸味、甘味、切れ味が重要な要素となる。

これらのすべてが噛み合った初めがいい日本酒が醸造される。これは杜氏の長年の経験と味覚によるのである。

この松尾神社祭が終わると、長い冬を酒造りに励んだ各酒造元の人々は、家族のいるふる里へととどめてゆく。

責任役員会議開催

平成三年度予算を審議

平成三年度の当大社予算案審議を中心とする責任役員会議が、去る三月十四日午前十一時から当大社儀式殿に於いて、出迎介(代理 渡辺茂太郎)、河野幸三郎(代理 堤宗介)、永倉幸人、山本三吾、占部文男、古賀芳人各責任役員と、当大社より養父宮以下関係職員が出席して開催された。

会議は、開会の辞の後、養父宮より挨拶を引き続いて平成三年度宗像大社予算案審議に入った。冒頭予算案の基本的姿勢が示され、酒造奉賽祭の心配される社会情勢に配慮できるよう編成されている旨の説明が行われた。

次に社務本局、海洋分局、文化財管理事務局と審議、それぞれ担当者より説明が行われ、各委員の了承を得て、次年度予算が成立した。また、他の議案についても、慎重な審議が行われて、諸議案は承認された。

最後に平成三年度の社務状況報告が行われた。その

人事

四月一日付で若干の異動が発令されましたのでお知らせいたします。尚、担当者以外は従前の通りです。

- ◇ 経理部
 - 会計課長 用度課長(兼) 権宜 堤 宏
- ◇ 庶務部
 - 庶務 広報課員 権宜 杉山 安彦
- ◇ 海洋分局
 - 権宜 東 弘
- ◇ 昇任
 - 権宜 葦津 幹之

四月一日付で若干の異動が発令されましたのでお知らせいたします。尚、担当者以外は従前の通りです。

一、遊山(魚釣等)の目的と乗船は固く禁止します。

二、船/島上陸の際は、乗船をとお断り致します。

三、沖ノ島上陸にて喫煙は、心身を清める事。

三、御神水以外は、一木一草たりとも持ち帰る事を禁じます。

又、嚴重なる筈がある為、婦女の参拝は固くお断り致します。

※大島の宿泊につきましては、当大社ではお世話しかねます。参拝要項に同封の「大島の旅館・民宿のパンフレット」を御参照の上、各自で直接予約をお願い致します。

沖津宮現地大祭

神部宗像の川岸、野原には、黄色い菜の花が美しく咲き誇る春が訪れて来ました。「海」の正倉院と呼ばれた、宗像大社の沖津宮の鎮座する絶海の孤島・沖ノ島でも菜の花が満開となっています。

この沖ノ島近海で行われた日本海海戦の日記念や、国家の安泰を祈る、沖津宮現地大祭が、来る五月二十七日、宗像大社沖津宮に於いて斎行されます。

年に一度の沖津宮現地大祭を左記の如く斎行致しますので、当大社へ御連絡下さい。

一、参拝希望の方は、申し込み用紙を送付致します。

二、参拝者は沖津宮奉賽会費として名に付、八千円をお納め頂きます。

三、五月二十七日(日曜日)午後六時迄に中津宮(大島)に到着し、受付を済ませ、宵宮祭に参列下さい。

三、五月二十七日(日曜日)午前六時大島を出発、沖ノ島到着後、直ちに海水に浸していただきます。

祭典は午前十一時斎行の予定です。

午後一時、沖ノ島を出発し、大島到着は午後四時予定。

その後、直ちに解散となります。

四、大島/沖津宮最終船は午後六時です。

五、渡島不可能の場合は、大島の沖津宮通所時に於て参拝を希望の方は、参拝申し込み書を五月十日迄(必着)に、宗像大社社務所宛に到着する様お送り下さい。

七、乗船数に制限がありますので、定員を越える場合はご遠慮いただくことがあります。その点ご了承下さい。

八、年令七十歳以上の方の渡島は、関係筋の通連により御遠慮願います。

尚、長時間の乗船に堪えられない方や、健康状態が良好でない方は、御遠慮願います。

一、申し込み者には、受付後参加の諸否を、葉書にて御通知申し上げます。

二、沖津宮参拝心得

一、遊山(魚釣等)の目的と乗船は固く禁止します。

二、船/島上陸の際は、乗船をとお断り致します。

三、沖ノ島上陸にて喫煙は、心身を清める事。

三、御神水以外は、一木一草たりとも持ち帰る事を禁じます。

又、嚴重なる筈がある為、婦女の参拝は固くお断り致します。

※大島の宿泊につきましては、当大社ではお世話しかねます。参拝要項に同封の「大島の旅館・民宿のパンフレット」を御参照の上、各自で直接予約をお願い致します。

一話一話(7) 海上の神楽

我が国は往古より八百万の神々が住む所である。神は全ての源であり、神の考えと動作が生き物達の動きとして表れる。

日本書紀、卷第一(神代)の天石屋の条に「時に、八万神、天安河定に於いて、其の撈るべき方を計ふ」とある。これは多くの神々が集合し会議を開いている模様である。この数多くの神々の中に海の神も存在する訳である。何故かと言えば、日本は四面を海に囲まれ、島々が弓矢に連なって造られた国である。古代交通路の主力は水上にあり、最大交通機関は船である。

長い信仰をうけてきた神様は「船津見三神」「筒男三神」「宗像五神」の三組の神々であり、何れの神も同様に三柱の兄弟姉妹の代表とされているのが、宗像大社に奉斎する宗像大神である。この神は全国各地の神社のなかでも、六百三十余のお社に祀られている。

宗像神は古代史の一時期歴史の中央舞台となる北部九州を統括し海・陸・空、大陸への侵略の主導権を握っていた氏族、甕形氏の氏神でもあり祭神とされている。特に北部九州一帯の玄界灘は、最前線の重要地点であり全ての出入り口の役割を担っている。

北部九州から朝鮮半島釜山へ懸る道。この直線航路を「海外道」と斯く謂う。近い「海北道」と斯く謂う。この道の間で航路の標識の役目をはたしてきた沖ノ島の神々は、宗像三女神の一人、田心姫神を祀る京代海人宗像大社の大祭場であった。この祭りは、三次に亘る沖ノ島学術調査で報告されているように、当時の外交交渉の一助として永く大和朝廷が関わりを執り行っていたのである。この道はいまは関釜フェリーのコースである。また小倉港と対馬の浦津とを結ぶ直行便が走る路でもある。外国への最短距離の玄界コースは、昔も今も海に浮ぶ船影が多く、続く。これがここを海の十字路と言いつ海上の銀座と言っている所以である。

各地の遺跡から船に関する出土品も多岐にわたる。船体の残存をはじめ土器や銅鐸・裝飾古墳に描かれた、壱輪や土製・木製の船形品等が上げられる。特に海北道の道標地沖ノ島での祭祀には、航海安全を祈り、繰り返し多量の滑石製船形が献げられている。

古代の日本文化として開花したのが、飛鳥大平文化であり、奈良の正倉院御物である。この文化遺産である。ここにはヨーロッパ・中近東の文化が中国にもたらされ、中央アジアでインド仏教文化(ガンダラ美術)と台流し、途中で新技術と台流し、途中で新技術に百済・新羅の文化も加わり、海を越えて流動の終着日本に至った。独自の在古文化と大陸各地の文化とが混合して、新しい大和文化的萌芽となり、これが今我々の見る正倉院文化として残る。その一端は沖ノ島祭神神宝から推察出来る。この神事をふまえて沖ノ島は海の正倉院と称される。

宗 像 市 市制施行十周年

21世紀に向け新しい街づくり



福岡・北九州両百万政令都市のベッドタウンとして発展している宗像市が、昭和五十六年四月、日市制施行以来、今年で十周年を迎える。

当時県下二十番目、人口五万七〇〇〇名の市としてスタートした宗像市は、その後着実に発展。現在では人口六八、二七五名で、約二、五〇〇名の増加をみ、福北大都市圏構想、玄海レクリエイト構想の中核都市として、県内でも注目度ナンバーワンの都市である。

同市では、四月十日（水）午後二時より、宗像ユリックスに於て記念式典を挙行。満十才の誕生日を祝ったのである。

式典には国會議員、県知事、県議員、宗像郡町村長等行政関係者、また各方面の方を来賓として迎え、瀧口凡夫宗像市長を始め関係者・市民多数が出席して行われた。

宗像市十年の歩みを見てみると、初代市長に天野敏樹氏が就任、市制施行と同時に市の木「クス」・市の花「カノコユリ」を制定、巡回職業相談室を開設した。昭和五十七年自由ヶ丘中学校が開校、市民体育館完成、釣川ボランティア実行委員会が発足し第一回「釣川まつり」が開催された。同五十八年「働く婦人の家」完成、日の里中学校水泳部が九州大会で初優勝、更に第一回九州中学校水泳大会でも男子総合優勝した。同五十九年市民学習ネットワーク事業がスタート、吉田・多礼ダムの完成に伴い宗像地区水道企業団より浄水の供給を開始した。同六十年東海大学第五校野球部が甲子園（選抜大会）に初



出場、赤間西小学校の開校、農耕婦人の家完成、この年人口が六万人を突破、総合公園造成工事に着手した。同六十二年総合市民センター基本計画案決定、宗像自治会館全面改築完了、河東中学校の開校、総合市民センター建設工事に着手した。同六十二年には宗像の団地も造成され、その変貌は目を見張るものがある。

当日の式典は、国歌斉唱に始まり、瀧口市長、南議長、宗像郡町村長、宗像市教育長、宗像郡町村長代表の場内祝詞、続いて市の公議長の祝詞、続いて市の発展に特に功績があった団体、個人に対する表彰式が行われ、行政・民生・文化・体育・産業などの各分野で約百六十の団体、個人対象者が表彰を受けた。表彰式後受賞者代表由良三郎元町

の団地も造成され、その変貌は目を見張るものがある。同日の式典は、国歌斉唱に始まり、瀧口市長、南議長、宗像郡町村長、宗像市教育長、宗像郡町村長代表の場内祝詞、続いて市の公議長の祝詞、続いて市の発展に特に功績があった団体、個人に対する表彰式が行われ、行政・民生・文化・体育・産業などの各分野で約百六十の団体、個人対象者が表彰を受けた。表彰式後受賞者代表由良三郎元町

去る三月二十日、午前十一時より当社清朗殿に於て、宗像大社氏子会評議員会を始め、宗像郡各地区の氏子評議員約六十名と、神社側より養父宮司以下七名の職員が出席して開催された。

当日は、会議に先立ち本殿にて、河野会長以下出席者全員が正式参拝を執り行われ、正式参拝後、会場の清朗殿にて会議を開催、新海副会長の開会の辞に始まり、

国歌唱、神宮並びに皇居遙拝、敬神生活の綱領唱和、氏子長並及び当社社司挨拶と続き、当日の議事にいった。

議事は最初に当社春季大祭の祭典、諸行事等の日程説明が、祭典長の山田伸宜より行われ、氏子皆様の多数の参拝をお願いした。また氏子奉幣について、当寺の玄海町で相談され、田島地区評議員の吉田種夫氏に決定した。

次に役員改選の件として、

- 社務日誌抄**
- 三月一日 月次祭参行 甘木市歴史博物館 副館長来社
 - 三月二日 宗像警察署長 吉五男氏・同警備部長 賀屋丸靖氏・同外勤課 牟田尻野在在所大庭英次氏・同吉田浩二氏 新任社務員
 - 三月三日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月四日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月五日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月六日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月七日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月八日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月九日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月十日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月十一日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月十二日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月十三日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月十四日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長
 - 三月十五日 宗像警察署長 岡田大社市長 岡田大社市長 岡田大社市長

評議員並びに総代等の交代が行われた地区、あるいは交代予定の地区は、事務局への報告を願いました。最後に文化財事務局より各地区の神社などに奉納されている、絵馬等の調査報告をお願いしています。お持ちの方へは、是非ご協力をお願い致します。事務局 宗像市役所 秘書課 電話 〇九四〇 三六一一九二 FAX 〇九四〇 三六一五八五

大島だより 観光開発と漁業の振興

大島の海の美しさ、自然の豊かさを多くの人に楽しんでもらう日も間近となった。

大島漁協 製氷冷蔵施設竣工

大島漁協 製氷冷蔵施設竣工



大島漁協 製氷冷蔵施設竣工

大島漁協 製氷冷蔵施設竣工

大島漁協 製氷冷蔵施設竣工

大島漁協 製氷冷蔵施設竣工

大島漁協 製氷冷蔵施設竣工

大島漁協 製氷冷蔵施設竣工

中津宮境内の桜の蕾はころび始めた四月三日、午前十一時三十分よりグラスボート「さよしま」の船が航行された。

中津宮長、遠藤漁協組合長、村上市議会議長等関係者多数が、大島港の波止場に接岸した「さよしま」に乗船し参列した。

同船は、大島港島の観光開発、また復興に役立てようとして計画、長崎県北松浦郡の共立レジャーフラット（株）で今年一月一日に起工、無事の竣工をみて、こ



の日の船載となった。総トン数七・九、全長一〇・七五m、乗員二名。就航は五月中旬予定で、乗客は当初十名、やがて三十名となる。コースは現在未定である。

「さよしま」の船名は小学生から募集して決められたが、むろん朝に夕に美しい姿を見せている小島高からとられたも

大島港には、いと一段と高く見える大島漁協製氷冷蔵施設が竣工した。四月七日午前十一時三十分より竣工式が行われた。

祭典には、大島漁協同組合の遠藤案山子組合長、中村国美弥村長始め、漁協関係者約五十名が参列し、施設内で厳粛に参行された。

同施設は、大島漁協同組合がかねてより計画していたもので、平成二年度新沿岸漁業構造改善事業として、同組合が建設したものである。

新連載のご紹介

「神郡宗像」を今月号より

先月号で完結しました連載、「日本のころを尋ねて、むなかたの海辺と社」に続き、郷土史家田中政喜氏の執筆による「神郡宗像」を今月号より連載いたします。私達の故郷、むなかたの歴史を知っていただくために、誰にでもわかる内容で掲載いたします。今後も楽しみに待っていていただくと思います。

新連載開始にあたり、執筆者の田中政喜氏の略歴を

長崎の謝辞、祝電披露、アントラクショーンと続き、一時間半に亘る記念式典も盛會に終了した。

宗像市では、翔べ小さな大島市むなかたの、スローガンのもと、本年度一年間各種の記念事業を計画、四月十九日の福岡県植樹祭、四月十九日の福岡県植樹祭、八月十九日の少年少女海外派遣、十月にはパレールホールビル、十月にはパレールビルの招待試合、中村敏子ピアノリサイタル、来年三月予定の宗像歴史写真集発行、正助ふるさと村建設事業等多岐に渡

「神郡宗像」を今月号より

ご紹介いたします。

著者 略歴

明治39年 飯塚に生まれる

大正13年 福岡県立嘉穂中 学校卒業

大正14年 福岡師範学校本 科第一部卒業

昭和7年 立正大学地歴科 卒業

昭和10年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

「神郡宗像」を今月号より

ご紹介いたします。

著者 略歴

明治39年 飯塚に生まれる

大正13年 福岡県立嘉穂中 学校卒業

大正14年 福岡師範学校本 科第一部卒業

昭和7年 立正大学地歴科 卒業

昭和10年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

「神郡宗像」を今月号より

ご紹介いたします。

著者 略歴

明治39年 飯塚に生まれる

大正13年 福岡県立嘉穂中 学校卒業

大正14年 福岡師範学校本 科第一部卒業

昭和7年 立正大学地歴科 卒業

昭和10年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

「神郡宗像」を今月号より

ご紹介いたします。

著者 略歴

明治39年 飯塚に生まれる

大正13年 福岡県立嘉穂中 学校卒業

大正14年 福岡師範学校本 科第一部卒業

昭和7年 立正大学地歴科 卒業

昭和10年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

昭和18年 県立宗像高 等女学校勤務

宗像大社歌会
俳句作品集(三七)

藤沢 井上 玄洋
芽を出してそれと気付けり
松の志

若松 井手 清隆
到来の名葉ありけり雪見の
茶

福岡 広渡一寿軒
刺り立てを柳掌で撫でて作
務衣僧

名古屋 小田 喜一
量水標芥まといて川瀆るる

福岡 森 清
啓誓や金箔まぶす質の料理

名古屋 小田 留子
列車内スキーの板の林立す

津屋崎 西住喜三郎
孫里に行きて静かな雛の夜

田熊 力丸 一郎
春めし陽に照らされて猫
夢路

田熊 安部 ゆき
おぼろ夜の終電の音遠ざか
る

福岡中央 力丸 玄風
累代の墓守る傘寿彼岸供華

津屋崎 井浦 良介
果立ちゆく住み馴れし鳥後
に

日の里 花田いつ枝
料峭や帽子が楯の額髪



(続)



二千年前のココヤシ

いし いた だし

二月四日、夜、福岡市文
化課の柳沢一男氏より電話
があった。博多駅の南約二・
五キロメートルの比恵遺跡(福
岡市博多区博多駅南四
丁目所在)から、ココヤシ
を加工した容器が出土した
ということであった。「あ
あ遂に福岡から出たか」
と、ある程度、その可能性を予
想はしていたが、現実にな
ると興奮は隠せなかった。
それと「比恵遺跡」という
遺跡の名に、懐かしさがい
みあけて、色々と思い巡ら
し、あまりよく眠れなかつ
た。



海の中道に漂流したヤシ

翌日、勤務時間の二時間
早目に年休をとり、福岡市
役所にある文化課を訪ね、
ポリバケツに水を入れ、
そこに黒っぽいボール状の
ヤシが沈んでいた。「どう
ぞゆっくり手にとって見て
下さい」とバケツから、取
り上げられたヤシを受けと
した時は、いたく感動した。
二千年前、はるばる対馬
海流に乗って流れ着き、弥
生人の目に触れ、取り上げ
加工したのを、今、私は手
にしているのを、い、私は手
に最新の発掘品を手にと
せてくれた心遣いである。
正式の報告書が出るまで

は、このヤシの件について
書くことは、憚れるが、新
聞報道されたものを参考に
して、若干、見た印象を述
べておきたい。

発掘されたココヤシは、
口径八・五センチ、高さ一
二センチ、容積は約七〇〇
ミリリットル、ココヤシの
繊維質の外皮を剥きとり、
内果皮(殻)を完全熟すと
硬化)の部分を取り出し、
発芽孔(三孔あり、その一
つが薄くなって、芽はそ
こから出てくる)の部分
を切りとっている。切
られた断面部分には鋭利な
刃物の跡が交互に残ってい
るので、金属器か石器で丹
念に切りとったのであろう。
口縁部付近に四ヶ所の小
孔が穿たれているが、恐ら
く吊り下げたようにしてい
たものであろうか。長期間、
土中にあり、黒色化してい
るが、表面には外皮の繊維
質が、若いやわらかな内
果皮に刻まれて、縦に筋状
のものがあり、ココヤシの
特色がはっきりと認められ
ている。内果皮の堅い部分を
器として使用し、それが一
二センチあり、外皮がそ
れを包んでいるので、ヤシ
とは社会的にも不可能で、
そのまま結婚することが多
かったようである。結婚とは
それほど大切なものだった
のです。結婚は、二人の
新しい生活を神様に認めて
もらい、また望ましい家庭
を築くことを神に誓い、そ
してその成就を願う儀式で
す。現在結婚式には、神前
仏前、キリスト教など、多
く、さまざまな様式があり
ますが、なかでも全体が八割近
くを占めるのが神前結婚式
です。

もっともその神前結婚式
の歴史もそう古いものでは
ない、明治以前には神社の
神前で結婚式を行うことは
ほとんどなく、大部分は家
庭で行われていました。

全体の大きさは直径三〇セ
ンチほどの大きなもののよ
うである。

さて、ココヤシ容器を出
土した比恵遺跡は、比恵遺
跡群の一つで、民間マシヨ
ン建設予定地である。今回
で住居跡十四棟、井戸跡十
四基、貯蔵穴等も多く発掘
された。ココヤシ容器
を出土したのは、直径二・
一メートル、深さ一・八メー
トルの貯蔵穴で、中に十数
個の壺や土器や木器類
を出土している。深い貯蔵
穴内の湿気が、木器やココ
ヤシ保存を可能にしたので
あった。時期は弥生時代中
期後半といえる。なお、同遺
跡の井戸跡からは、高さ四
五センチ、幅六〇センチ
五の深さ三〇センチの
完形の臼も出土している。
これは完全な形の臼は九
州でも稀といえる。

比恵遺跡といえは、私が
考古学に興味を覚えたのは
この遺跡からであった。今
から約四〇〇年ほど前、小
学校の六年の時、友人から二
千年前という小さな弥生土
器の破片をもらい、深く感動
した。どこから拾ったかを
尋ねたら、博多駅の「比恵

まつりと生活(三十六)

神道と結婚について

結婚は人生の大きな節目
の一つです。男女ともに試
行錯誤を繰り返しながら結
ばれ、社会の一員として一
家を構えるわけですから、
本人同志は勿論のこと、双
方の家族や社会にとって大
きな出来ごとと言えます。
特に昔は、結婚とはその
まま労働力の移動でもあり
ました。そのため、地方
や時代によって異なります
が、足入れ婿、嫁入り婚な
どのさまざまな形態や手続

きが生じましたし、地域社
会や家族、親族にとっても
重要な出来ごとだったので
す。しかし、その儀式であ
る結婚式は現在ほとんど派手な
ものではなく、大部分は家
庭の床間のある座敷で行わ
れ、儀式の中心は夫婦になっ
たことを家族、親族、地域
社会の関係者を招いて披露
することでした。

地方によって異なります
が、通常、結婚に関する儀
礼は「結納」「結婚式」「披
露宴」の三つに大きく分け
ることが出来ます。

「結納」は、婚約が成立
した双方の家が仲人を通し
て帯料、袴料などの金貨と
着飾り、袴料、松島酒、
長髪女、子生籠、友志良髪
(髷)、末広(扇)、家内喜
多留(酒)などの縁起のよ
い品物五品、または七品を
取り交わすことです。かつ
ては婚約のみであればまだ
断れることも可能でしたが、
結納がすむと破談にするこ
とは社会的にも不可能で、
そのまま結婚することが多
かったようである。結婚とは
それほど大切なものだった
のです。結婚は、二人の
新しい生活を神様に認めて
もらい、また望ましい家庭
を築くことを神に誓い、そ
してその成就を願う儀式で
す。現在結婚式には、神前
仏前、キリスト教などの
さまざまの様式があり
ますが、なかでも全体が八割近
くを占めるのが神前結婚式
です。

もっともその神前結婚式
の歴史もそう古いものでは
ない、明治以前には神社の
神前で結婚式を行うことは
ほとんどなく、大部分は家
庭で行われていました。

神前で結婚式を行うよう

神郡宗像 田中政喜 (一)

九つあった。
伊勢神宮、多氣渡(タケワタ)飯
野の三郡

宗像神社、宗像郡
出雲大社、意宇郡
鹿島神宮、鹿島郡
香取神宮、香取郡
日前國宮、名草郡
安房神社、安房郡

九州では宗像のみで、永く
後世に伝わったのは神代の
昔天照大神が三柱の女神に
降り、天孫を助け奉って未
の世まで天孫の帝にいつき
祭られよ」と詔せられてか
ら、御歴代の天子には大神
の御詔を深くかしこまれ、
勅令を下して厚く祭祀させ
られていくことによるので
ある。この神郡宗像として
の誇りを持った全部民は、
三柱の女神を祭祀する宗像
大社を産土大神とするわち総
氏神とあがめ、全部地は神
領として子孫々々、祖先の
遺徳を継承して神社に奉仕
してきたのである。

元來この神郡の制は、一
二〇〇余年前孝徳天皇の時
定められたもので、旧來の
習慣を一層嚴重に正しくし
て、神郡としての榮譽と義
務を履行させるために定め
られたもので、その後たび
たびの國の制度の改正が行
われたが、これだけは改め
ることがなく存在した。

その当時の神郡宗像の区
域は、現在の宗像市郡に遠
賀、鞍手、粕屋の三郡の一
部を合せた大相模内郡と
武年(六九八)三月には、
筑前国宗像と出雲の國意宇
の二郡に天皇の詔があつて
他姓の者を郡司に任ずること
とは相ならぬ。又三等以上
の親は連任することを許す
といふことである。

その当時全国には神郡が

あるから明らかなでない。
次の諸説によると実に神
秘的で、深甚しかも高大人
格的意識をもっている。

一、胸肩 古事記及日本
書紀

二、宗形 続日本紀
三、宗像又は宗加多
延喜式及倭名抄

四、身形後改めて宗像
西海道風土記

五、胸肩 宗像軍記
六、空高又は沼無高
筑前誌(春日野)

地理的ない見解で
青柳種信氏
「住吉田島村は沼
海の浜で、東南
北の三方は皆潮水
が湛えて田島川
(釣川)の上の土
穴(種元)あたりま
で遠く至海であつ
た。近代になつて
潮水を引いて斥瀆
の地を墾いて佃と
した」この事から
近く深田、牟田
沼などのあること
からムナカタのム
ナは空で空しき又
は沼無カタは瀆で
即ち空しき瀆(空
瀆)又は沼無瀆で
あろう。又カタを
方としてその方面
の人ということか
ら沼無の方に住む
人から沼無とす。

三、神郡宗像
古來か宗像神郡とい
て全国で統一した由緒深い
である。続日本紀には、文
武年(六九八)三月には、
筑前国宗像と出雲の國意宇
の二郡に天皇の詔があつて
他姓の者を郡司に任ずること
とは相ならぬ。又三等以上
の親は連任することを許す
といふことである。

その当時全国には神郡が

Y・S 記